

## パブリックコメントに対する考え方・対応

番号	該当箇所	御意見の概要	意見に対する市の考え方・対応
1	全体に関するご意見	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略にある宇部市の取り組みを多くの市民が知る機会を作る事が、地方創生の取組を進めるうえで重要だと思う。 市職員、市民みんなで持続可能な宇部市を作り上げてく必要がある。</p>	<p>策定中の総合戦略は、市民をはじめ、産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディアなど産官学金労言で構成する「宇部市地方創生推進協議会」で方向性や具体策について審議・検討を重ねるなど、広く関係者の意見を反映しながら策定しています。 また、市民説明会やパブリックコメントの実施により、素案の段階から広く公開し、多数のご意見をいただいております。 総合戦略については、今後も出前講座や様々な機会を通じて、協働のパートナーである市民の皆様にご周知していきたいと考えています。</p>
2	全体に関するご意見	<p>幼い時の体験・思い出が、鮭が生まれた川に戻るように、人を宇部に呼び戻す、ふるさと“宇部”を大切にしたい。</p>	<p>本市が魅力あるふるさととして、多くの方に大切に思ってもらえるために、「暮らしてよし 働いて良しの 市民が誇りを持てるまちづくり」を目指し、本市の地方創生を進めていきます。</p>
3	全体に関するご意見	<p>夢のある元気都市“宇部”であるためには、人口減少にあっても、人口15万人を目標とすべきと考える。</p>	<p>宇部市人口ビジョンにお示ししたとおり、人口の自然動態において、死亡者数が出生数を上回る自然減の傾向が顕著であり、人口の減少は今後も続いていくと予測されます。 国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本市の人口は25年後には13万人を割り、45年後には10万人以下となることが予測されています。 人口減少が進む中においても、元気で活力あるまちづくりを進めるため、合計特殊出生率の向上や社会増減の均衡を図る様々な施策を講じることによって、25年後の2040年の人口の展望を約14.4万人と見込んでいます。</p>

番号	該当箇所	御意見の概要	意見に対する市の考え方・対応
4	全体に関するご意見	<p>このまま人口減少が続くと税収減による社会サービスの低下や、空家問題、無縁墓(仏)、老々介護、一人暮らし、児童生徒数が過去最低など深刻な問題が山積みになる。小手先だけの取組では課題は解決できない。</p>	<p>宇部市人口ビジョンにお示ししたとおり、人口の減少は生活分野、子育て・教育、医療・介護、産業分野など、様々な分野にマイナスの影響を及ぼすことが懸念されます。人口減少、少子高齢社会が進行する中であっても、本市が魅力と活力にあふれ、持続可能な発展をしていくため、総合戦略に基づき、「暮らして良し、働いて良しの市民が誇りを持てるまちづくり」を進めていきたいと考えています。</p>
5	全体に関するご意見	<p>全国区の地域間競争になるため、国の評価をクリアするには、宇部市ならではの大きな特性を持つ施策、「宇部市はこういうことをやるのですよ」と強くアピールし、国を説得出来る施策が不可欠である。そのためには、地方創生を進めていくリーディングシティとしての大きなスタンスや、地域特性を生かした取組、CCRCへの挑戦などの積極性等が求められている。戦略を実行する財源獲得のため、国に評価される「武装強化」が不可欠である。</p>	<p>若い世代の流出に歯止めをかけ、活力あるまちづくりを進めるためには、まず「しごと創り」が重要であり、若い世代が本市で安心して働くことができるよう、安定した雇用の創出を図る必要があると考えています。工業都市として発展してきた本市として、これまで取り組んできた産業支援策を強化・発展させることに加え、産学公一体となった環境保全の取組や充実した医療環境、海の幸・山の幸を産する恵まれた自然環境など、本市ならではの地域資源を最大限に生かし、環境エネルギーやヘルスケア、観光分野における産業の育成・振興などを進めていきます。また、特色ある地域づくりを推進するため、各地域で自主的に取組む地域計画の策定など、地域課題を自ら解決できる体制づくりを支援するとともに、本市の特長である医療・介護施設・大学など充実した地域資源を活用した宇部版CCRC等にも取り組んでいきます。ご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

番号	該当箇所	御意見の概要	意見に対する市の考え方・対応
6	全体に関するご意見	地方創生の実行のためには、市、企業、住民等が一体となり、将来を見据えて長いスパンに立ち実現していくことにベクトルを合わせ、取り組んでいく体制が必要である。	地方創生を効果的・効率的に進めていくにあたり、総合戦略等の策定段階から、市民をはじめ、産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディアなど、各界からの幅広い意見を反映するため、「宇部市地方創生推進協議会」を設置し、協議を重ねてきました。策定後も、「宇部市地方創生推進協議会」から随時ご意見をいただき、個別事業の検証や改善(PDCA)等を行いながら、施策の効果的な推進を図ることとしています。
7	「安定した雇用を創出する」取り組みに対するご意見	起業・創業について若い人に広く知ってもらうような取組が必要である。	うべ起業サポートネットワークを中心として、優れたアイデアの掘り起こしや事業の具現化の場、起業家同士の交流の場を設定するなど、起業や創業に関する情報に触れる機会を増やす取組を進めていきます。ご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
8	「安定した雇用を創出する」取り組みに対するご意見	ヘルスケア産業の育成・振興は重要であり、雇用の創出が期待される場所だが、一般企業と比較して賃金が低いため、介護職員不足等に至っている。所得向上に向けた取組が必要である。	超高齢社会に向けて、本市では、充実した医療・福祉環境を生かしたヘルスケア産業の育成・振興を進めていくこととしています。ご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
9	「安定した雇用を創出する」取り組みに対するご意見	農林漁業の後継者不足のため、将来への期待を込めて、幼児・学生をターゲットにした漁業体験や農業体験の実施が望まれる。	農林水産業の振興と担い手の育成のため、新規就農者の育成や、漁業技術研修の実施等に取り組んでいきます。また、市内小学校においては、地元特産品のなすやキャベツ、みかんの生産等について学ぶ機会や、フラワーアレンジメント等の体験を通じ、子どもたちが一次産業に親しむ取組を行っているところです。ご意見につきましては、P32②イに「農林水産業の体験など、地域の特色を生かした」を加筆しました。
10	「安定した雇用を創出する」取り組みに対するご意見	安定した雇用を継続する取組も必要と考える。	「安定した雇用を創出する」ための各施策においては、雇用の継続という視点も含めて、取り組んでいきます。ご意見につきましては、P4の「～若い世代が本市で <u>安心して働く</u> ことができるよう～」を「～若い世代が本市で <u>継続して働く</u> ことができるよう～」に修正しました。

番号	該当箇所	御意見の概要	意見に対する市の考え方・対応
11	「安定した雇用を創出する」取り組みに対するご意見	市長や副市長が企業を積極的に訪問し、意見を聞きながら安定した雇用の創出を進めるべきでは。	雇用の確保・創出のため、毎年、市長がハローワーク及び宇部商工会議所と連携し、地元企業を訪問するなど、関係機関と連携して求人確保要請活動を行っています。また、企業との交流については、誘致企業懇話会に市長が出席し、意見を聴取しています。今後も引き続き、地元企業に対し、雇用機会の確保要望を行っていきます。
12	「安定した雇用を創出する」取り組みに対するご意見	安定した雇用を創出するためには、耕作放棄地の活用方法や手法を工夫するべきである。 例えば、放棄期間による種類分けや太陽光発電による運用などを検討してはどうか。	農地の集積や耕作放棄地を活用して6次産品の原料となる農作物等を作付けする農業者等に対する支援など、耕作放棄地の有効活用のための取組を進めていくこととしています。 ご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
13	「安定した雇用を創出する」取り組みに対するご意見	少子化の一つの原因として晩婚化が考えられるが、正規雇用を増やし、所得を上げていかなければ、結婚しても安心して生活できない。 非正規労働者を減らしていく取組が必要と考える。	若い世代の流出に歯止めをかけ、活力あるまちづくりを進めるためには、まず「しごと創り」が重要であり、若い世代が本市で安心して働くことができるよう安定した雇用の創出を図る必要があると考えています。 このため、地元の関係機関との産業振興連携をさらに強化し、地域資源を最大限に生かした「しごと創り」に取り組み、多世代雇用と所得向上を図ることとしています。 ご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。

番号	該当箇所	御意見の概要	意見に対する市の考え方・対応
14	「新しい人の流れをつくる」取り組みに対するご意見	<p>宇部の観光スポットとして、ときわ公園を広くPRし、他県を含めて訪れてくれる人が多くなれば、まちの活性化につながる。</p> <p>各地から多くの人を訪れる施設でもあり、良いイメージを持っていただくためにも、トイレや園内の自販機など、小さなところでも綺麗な環境を保つ必要がある。</p> <p>訪れた人が良い印象を持って頂き、PRをしてもらえるようになれば更に訪れる人が増加していくと考える。</p>	<p>ときわ公園のトイレについては、動物園のリニューアルに合わせ、平成26年度に1箇所の改修を行い、平成27年度に4箇所の改修を行う予定です。園内の自動販売機も含め、訪れた人に良い印象を持っていただけるよう、その維持管理にも努めていきます。</p>
15	「新しい人の流れをつくる」取り組みに対するご意見	<p>ときわ公園の魅力向上のために、若者をターゲットにしたイベントにも力を入れるべきである。</p>	<p>平成27年度に行う「ときわ公園活性化基本計画」の見直しの中で、検討していきます。</p> <p>ご意見につきましては、P12①ク、P25①ウに「若者や子育て世代」を加筆し、“若者”を明記しました。</p>
16	「新しい人の流れをつくる」取り組みに対するご意見	<p>宇部の魅力だけを発信するだけでなく、県や各関係機関と連携した戦略を考えるべきである。</p> <p>本市の強み(特長)の1つである山口宇部空港やその周辺をひとが集まれる賑わいのある場所にするとともに、県外からの来訪者へ向けた宇部市のPR、情報発信の拠点としてはどうか。</p>	<p>総合戦略では、県や関係機関と連携し、ターゲットに合わせた効果的・効率的なプロモーションやメディア戦略を展開することとしています。</p> <p>また、本市への交流・定住人口の増加を図るため、首都圏や近隣圏域等に積極的なシティセールス活動を展開しています。</p> <p>現在、山口宇部空港の到着ロビーには、宇部市の情報発信コーナーを設置しているほか、空港内でのイベントでも市の情報を積極的にPRしているところです。</p> <p>ご意見につきましては、P27③カに「山口宇部空港の利用者をはじめ、首都圏や近隣圏域等」を加筆しました。</p>

番号	該当箇所	御意見の概要	意見に対する市の考え方・対応
17	「新しい人の流れをつくる」取り組みに対するご意見	<p>移住・定住を促進するために、まず“宇部市のまちの魅力”を知ってもらうことが重要と考える。</p> <p>本市の大学・専門学校に通う市外出身学生に対し、宇部市のイメージアップ・居留意識の向上を図ることで、学生時代を終えても、このままここに住もう！と思えるまちにできたらいいと思う。(Iターンの促進)また、宇部市には、あまり知られていないが若者が好みそうなおしゃれなお店がたくさんあるので、チェーン店に負けない宇部のお店を広報する仕組みを創ってみてはどうか。</p>	<p>宇部市シティセールspartnerと連携し、本市の魅力ある資源を市外出身者に効果的にPRすることにより、定住人口の増加に取り組んでいます。</p> <p>ご意見につきましては、P24(2)に「学生に対し、本市の魅力や愛着を感じてもらい、卒業後も居住を促進する取組を進めます。」を加筆しました。</p>
18	「新しい人の流れをつくる」取り組みに対するご意見	<p>総合戦略の基本目標の5項目は、どの目標も今後の人口減少・少子高齢化社会がする中において大切な目標だが、若者層の人口流出の抑制や、大学卒業時等のUIJターン拡大等により人口流出の抑制・歯止めとして行くためには、魅力ある「まちづくり」が人を引き寄せる基盤だと考える。</p>	<p>学生等に本市の魅力や愛着を感じてもらう取組として、まちづくりに参画できる機会を増やすとともに、生活環境やまちづくりに対する学生の要望・意見を反映するしくみを導入します。</p>
19	「新しい人の流れをつくる」取り組みに対するご意見	<p>空き家情報の掘り起こし、ストック、情報発信について、空き家へ移住された実例、実績を個人情報を守る範囲で広報してはどうか。これにより、近くにある空き家の条件が比較検討でき、掘り起こしやストックにつながれる。</p> <p>さらに、移住した又は希望する方々との交流促進や、プライバシーが守れる範囲での事前調査、地域住民との交流の希望をあらかじめ知っておくことで、移住後の交流がスムーズに行われると考える。現在では、どちらもが遠慮気味。</p>	<p>空き家の利活用促進については、住宅情報バンクによる積極的な物件情報の発信や、賃貸・売買を目的とした空き家内にある家財の撤去に要する費用の一部助成などを行います。</p> <p>また、民間の取引による空き家の利活用を促進し、良質なストックの掘り起こしとニーズの把握を図るため、空き家リノベーションなどの研修会・セミナー等の開催等も行っています。</p> <p>ご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
20	「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」取り組みに対するご意見	<p>出生数増加に向け、行政の取組や子どもへの啓発が必要である。</p>	<p>結婚・出産・子育てに対する不安感や負担を解消し、安心して子育てができるよう、子育て支援ニーズに対応した施策を展開することにより、5年後の合計特殊出生率1.65を目標としています。</p> <p>ご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

番号	該当箇所	御意見の概要	意見に対する市の考え方・対応
21	「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」取り組みに対するご意見	晩婚・少子化等の要因の一つは、経済的事情であり、若い人の将来に対する経済的不安を解消する取組が必要である。	本市では、安心して子育てできる環境を整備する上で、子育てに係る経済的な不安や負担の解消は重要であると考え、様々な支援制度を実施しています。特に医療費については、中学校3年生までを対象として自己負担の軽減に取り組んでいます。
22	「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」取り組みに対するご意見	5年後の合計特殊出生率の目標を1.65にしているが、国の目標値である1.8との違いは何か。	国においては、2060年に総人口1億人程度を確保するための合計特殊出生率として、2020年に1.6程度、2030年に1.8程度、2040年に2.07に向上するよう、施策展開を図ることとしています。本市においては、2030年までに合計特殊出生率を1.9に、5年後の平成31年度には1.65に向上するよう、施策展開を図っていきます。
23	「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」取り組みに対するご意見	2人目、3人目の子どもに対する支援策などを工夫し、他市との差別化を図るべきでは。	本市では、多子世帯に対する子育て支援として第3子以降の子どもの保育料を軽減する経済的な支援をはじめ、子育てに係る不安や負担の解消に取り組んでいます。ご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
24	「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」取り組みに対するご意見	まち・ひと・しごとでは、地域に学校が必要である。まちづくりや地域づくり、また、UIターンや孫ターンの機会を作り人を増やすためにも、学校は欠かせないものであり、なくす方向については熟考を促す。	学校の適正配置については、子どもたちのより良い学習環境を整備していくという考えのもと、今後も地域の方と協働して取り組んでいきます。

番号	該当箇所	御意見の概要	意見に対する市の考え方・対応
25	「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」取り組みに対するご意見	魅力ある優れた教育機会の提供について、伝統教育内容については、各校区内の実態を大切に掘り起こして取り上げて欲しい。また、伝統行事、伝統技術、伝統食など、伝承できる達人と合わせて、情報収集、登録、発信も必要。また、コミュニティスクールとして実績ある校区の統廃合については、今一度地方創生の観点からも見直しを望む。小中学校が身近にあることは魅力という移住者の声や、「そーだ、地方で暮らそう！」国民会議行動宣言の中にも「小中学校を核とする」ことが、まち・ひと・しごと創生総合戦略と共にあげられている意味の再確認されたし。	本市の伝統文化を学ぶ教育など、魅力ある優れた教育機会を提供するとともに、コミュニティ・スクールやうべ協育ネットを活用し、子どもたちに多様な体験活動の場を提供するため、学校、家庭、地域が連携した地域ぐるみで子どもたちを守り育てる仕組みづくりを推進していきます。 ご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。  また、学校の適正配置については、子どもたちのより良い学習環境を整備していくという考えのもと、今後も地域の方と協働して取り組んでいきます。
26	「地域資源を活用した多様な地域社会の形成を目指す」取り組みに対するご意見	地方創生に当たっては、市全体の計画だけでなく、地域の特色(実情)にあった地域単位の目標が必要である。	地域の巡回や話し合い、専門家による研修会の開催などを通じ、地域の実情に応じた「地域計画」の策定を支援するとともに、その推進体制として地域運営組織を設置するなど、地域が自主的に地域の資源や特色を生かした魅力ある地域づくりを推進します。
27	「地域資源を活用した多様な地域社会の形成を目指す」取り組みに対するご意見	「2. 地域資源を活用した多様な地域社会の形成を目指す」昔から「向こう三軒両隣」と云われている。地域で活動する団体の中心母体は自治会であり、災害時の共働や見守り等行政との緊密な関係の構築が望まれる。	安心・安全なまちづくりを目指して、安心・安全見守りネットワーク等の関係機関との連携を図りながら、生活環境の整備や地域安全活動に取り組んでいきます。
28	「地域資源を活用した多様な地域社会の形成を目指す」取り組みに対するご意見	老々介護や独居者、買物弱者、防犯、災害、ゴミ出し問題など、自治会や民生委、社協委と行政、地域支援チーム等の活動や地域民の絆を強めて、真剣に高齢者対策へ取り組む必要がある。	子どもから高齢者まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、地域の特性や資源を生かして、生活に必要な様々な資源が一体的に提供される仕組みづくりや、様々な世代が支え合う地域づくりを行うため、地域・保健福祉支援チームが高齢者総合相談センターや地域団体・住民と連携して取り組んでいきます。 また、安心・安全なまちづくりを目指して安心・安全見守りネットワーク等の関係機関との連携を図りながら、生活環境の整備や地域安全活動に取り組んでいきます。

番号	該当箇所	御意見の概要	意見に対する市の考え方・対応
29	<p>「地域資源を活用した多様な地域社会の形成を目指す」取り組みに対するご意見</p>	<p>宇部市は、大学附属病院や多くの医療機関が集積し、優れた医療体制が確立されている。若者層のUIJターンは不可欠な事だが、壮年層を中心として、中年層、前期高年層の田舎暮らしに興味のある幅広い年齢層が興味を持てるような、「まちづくり」ができれば素晴らしい。</p>	<p>本市には、多くの医療機関が集積し、他都市と比較して医療環境が充実しています。さらに、緑豊かな自然や、野外彫刻が鑑賞できるシンボルロード、「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に選ばれたときわ公園など、市民等が健康づくりや健康維持を図る上でも恵まれた環境にあります。市民一人ひとりが健全な生活習慣を心掛けるとともに、地域や職域における組織的な健康づくりの取組を促進し、豊かで生き生きとした、活動的な生活を送ることができる「暮らして良し、働いて良し市民が誇りを持てるまちづくり」を進めていきます。また、田舎暮らしに関心のある幅広い年齢層が興味を持てるような移住体験イベントの実施や、地域住民と協働した受入・支援体制の確立など、中山間地域へも移住・定住の促進も図ります。</p>
30	<p>「地域資源を活用した多様な地域社会の形成を目指す」取り組みに対するご意見</p>	<p>自立した社会生活を送ることができるような地域共同体(CCRC)の整備が必要である。リタイア者には現役中の経験が豊富で、近年、ボランティアとして、社会に貢献していくという人が多くなってきており、有償ボランティアとして、社会に出ていくことは、本人の労働意欲も向上し、人の流れも発生するのではないかと考える。高齢者でも仕事が出来る環境づくりを推進し、ボランティアとバイトを掛け合わせたような仕事(ボラバイト)、環境保護、福祉関係のお手伝いなど、出来る事は沢山あるのではないか。</p>	<p>様々な世代が共働・交流するまちづくり等を促進するため、本市の特長である医療・介護施設・大学など充実した地域資源を活用した宇部版CCRC等に取り組んでいきます。高齢者対策においては、新総合事業の受け皿として、有償ボランティアによる生活支援、買い物支援の体制整備と高齢者の雇用促進を図ります。また、地域が主体的に行う地域資源を活用したコミュニティビジネスや、地域課題の解決につながる優れた企画提案に対して支援を行うなど、生涯活躍の元気なまちづくりを推進していきます。</p>
31	<p>「地域資源を活用した多様な地域社会の形成を目指す」取り組みに対するご意見</p>	<p>人の移動手段として、車移動がどうしても避けられない。公共交通の再生も避けられない事項である。交通空白地域の移動手段確保・地域の特性に応じた交通手段を考え、早急な対策が必要である。「宇部市に住んでよかった。」と言える生活環境を市と住民の力で地域活力の創生に取り組みたい。</p>	<p>市民が「住んでよかった」、「これからも住み続けたい」と思えるような魅力ある地域づくりを進めるため、公共交通については、マスタープランとなる宇部市地域公共交通網形成計画の策定を進めているところであり、バス路線から離れた地域の住民の移動にも配慮しながら、地域特性に応じた公共交通の活性化や再生に取り組んでいきたいと考えています。</p>

番号	該当箇所	御意見の概要	意見に対する市の考え方・対応
32	<p>「地域資源を活用した多様な地域社会の形成を目指す」取り組みに対するご意見</p>	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略は、とても大きな課題で、中山間地に住み、日々の暮らしの中での実践者の営みの意義づけ、評価は小さくても、掘り起こしてみてもどうか。（地元学） 在住の人々の暮らしを見つめ、足元から見直す、足元を評価し、伝統ある暮らしの「持続してきた価値」そんな地味で見落としされそうな「つながり」を大切にする活動の機会にしてゆけたらと願う。</p>	<p>地域資源や地域特性を活かした魅力ある中山間地域づくりを進めるため、ご提言の実践者の営みや伝統ある暮らしのほか、これまでのつながり等を含め、地域が主体的に策定する地域計画に基づき、小さな拠点づくりを促進することとしています。 また、併せて、中山間地域支援員等を配置し、巡回等を通じて、地域づくりに向けた課題を整理・把握し、地域資源を活用しながら、解決を図ることとしています。</p>
33	<p>「「にぎわいエコまち計画」」に基づく都市基盤の整備」取り組みに対するご意見</p>	<p>昔を知っている者としては、中心市街地の状況を寂しく感じる。中心街のにぎわいを知恵を出しあって、進めてもらいたい。</p>	<p>地方創生の取組を支えるための都市基盤の整備として、「にぎわいエコまち計画の推進」を総合戦略の取組の一つに位置づけています。 この中で、宇部新川駅周辺地区や市役所周辺地区、中央町三丁目地区を連携させた総合的整備計画の推進により、中心市街地のにぎわい創出に取り組んでいきたいと考えています。</p>
34	<p>「「にぎわいエコまち計画」」に基づく都市基盤の整備」取り組みに対するご意見</p>	<p>これからのまちづくりには、小さなまち作りに方向転換することも必要と思う。</p>	<p>「にぎわいエコまち計画」に基づき、多極ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けて、福祉・医療・商業等の都市機能や居住を都市拠点である中心市街地周辺他、地域拠点等に誘導し、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを進めることとしています。</p>

番号	該当箇所	御意見の概要	意見に対する市の考え方・対応
35	その他	入札制度について、一番安い価格を落札にするのではなく、受注価格の最低価格から2、3番目を提示した業者が落札するようにしてほしい。	落札者の決定に当たっては、地方自治法及び地方自治法施行令により、予定価格の範囲内で最低制限価格以上の最低の価格をもって申込みをされた方を契約の相手方とするよう定められているため、困難です。
36	その他	市営住宅の入居要件を緩和してほしい。(保証人を不要として欲しい。)	連帯保証人は、契約の内容を入居者と連帯して守っていただく点はその役割であり、入居の際には原則として2名の連帯保証人を求めています。 なお、市営住宅は、住宅に困っておられる低額所得者の居住の安定を図ることをその役割としていることから、入居者の努力にもかかわらず連帯保証人が見つからない場合は、契約の内容を遵守できると認められるときは、必ずしも連帯保証人を求めることなく入居していただくなどの配慮をしています。
37	その他	ときわ公園の利用について、市民への優遇策を求める。(駐車場が市民でも有料になったが解せない)	ときわ公園を多くの方に満足してご利用いただくため、維持管理の経費が必要であり、その一部を、受益者負担の観点から、駐車場使用料として、利用者の皆様にご負担いただいています。
38	その他	厚南循環線バスの利用客の増加に向けて、運賃を安くするよう見直してはどうか。(人の流れをつくるために、短期間でも試行的に実施してはどうか。)	厚南循環線については、地域の方々と協議のうえ、運行ルート、バス停の位置、運賃等を設定し、平成26年10月から運行を開始しました。 このうち、運賃については、分かりやすく利用しやすい均一運賃(大人200円、小人100円)とし、特に多くの利用が見込まれる高齢者の方々については、優待乗車証を提示のうえ、実質100円で乗車できることとしています。 今後とも、利用客の増加に向けて地域の方々と協議を進めてまいります。当面は、現行の運賃で運行していきたいと考えています。

番号	該当箇所	御意見の概要	意見に対する市の考え方・対応
39	その他	外国人の難民を受け入れてはどうか。	出入国管理及び難民認定法など、法的な制限もあり、本市だけの判断で実施していくことはできない状況です。